

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 萩ヶ丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

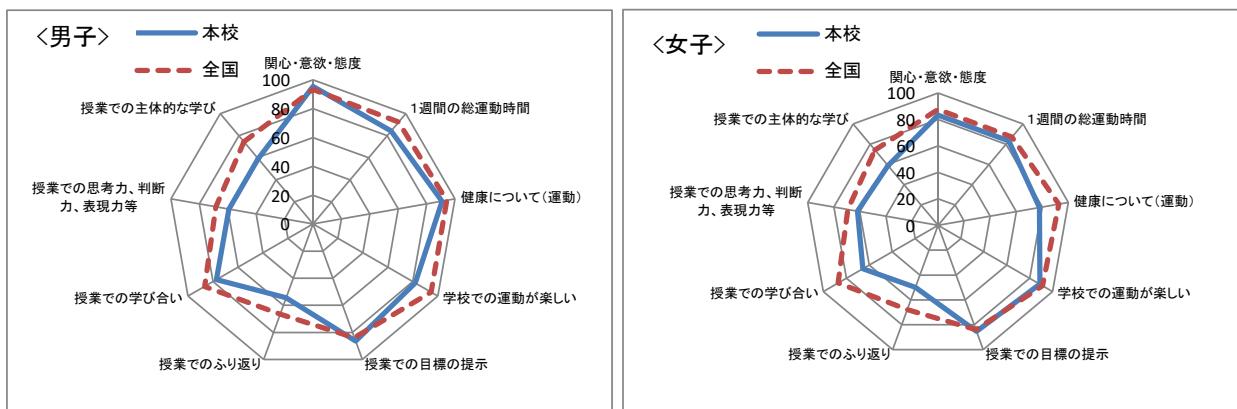
| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.37 | 19.80 | 33.24 | 41.74 | 50.32 | 9.42 | 151.45 | 21.61 | 53.61 |
| 本市 | 16.56 | 20.49 | 33.51 | 42.17 | 52.49 | 9.39 | 153.34 | 22.91 | 54.52 |
| 本校全国平均以上の種目 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ |

<女子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.09 | 18.95 | 37.62 | 40.14 | 40.79 | 9.64 | 145.68 | 13.61 | 55.59 |
| 本市 | 16.49 | 19.55 | 38.14 | 40.49 | 42.02 | 9.64 | 147.47 | 13.79 | 56.34 |
| 本校全国平均以上の種目 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男女ともに「運動やスポーツが好き」という肯定的な回答が多くた。男子児童は「運動やスポーツは大切」と考えている一方、実際の運動時間は全国の結果に比べ低い。女子児童は、実際の運動時間は全国の結果に近い一方、「運動やスポーツは大切」と考えている割合が低い。体育科の授業に関して、女子児童は「授業は楽しい」と肯定的回答をしているものの、男子児童を含めると、授業で児童が十分に充実感を味わっているとは言いがたいところもある。授業で目標の提示を行っているものの、ふり返り・学び合い・主体的な学び等に関して肯定的回答の割合が低いことから授業改善の取組が課題である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育の授業では児童の実態に合わせて安全面・規律面を優先して取り組んだ。そのため重点的取組であった「準備運動を含めた運動量の十分な確保」を徹底できなかつた面がある。実技調査の結果も踏まえ、来年度は持久力や柔軟性の向上を目指した取組を行う。また、前述の結果分析の課題の中から、「ふり返り」の徹底を図っていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

学校では運動会や持久走記録会等において、児童は目標をもちふり返りをしながら計画的に運動を行つた。来年度は、5分間走等継続的な取組を行い運動の習慣化を図る。保護者に対しては、健康を保持・増進させるための運動の大切さを、学校からのお便り・懇談会・行事等を通して啓発していく。